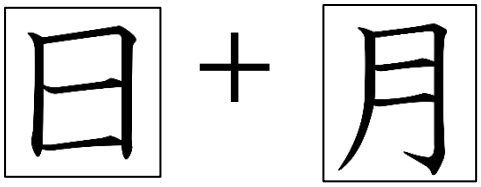
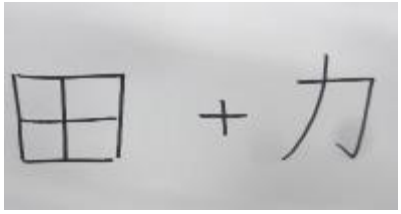
漢字に親しもう

教科との関連	国語

よく使う日本語　何だと思いますか？【質問】
たぶん～だと思います。【予想】

基本的な流れ	指導のポイント
1「漢字えほん」の読み聞かせを聞く。 **（聞く・話す活動）** 「漢字えほん」 とだ　こうしろう著 戸田デザイン研究室 「漢字えほん」 わらべ　きみか著 ひさかたチャイルド これらの絵本には１・２年生の漢字が出てくる。	○漢字に興味をもたせるための読み聞かせである。絵本は実態に応じて選ぶ。クイズ形式にして、問題を出しながら読んでもよい。一度に全部読まなくて、少しずつ読むのでよい。 **T:「何の漢字だと思いますか。」** S：「馬だと思います。」 ※高学年以上は、 ・象形文字（物の形からできている漢字）が視覚的に分かりやすいが、指示文字・介意文字・形声文字の漢字が増えてきて難易度が上がるので、実態に応じて提示する。
2　漢字クイズに答える。 **（話す活動）** 少しずつめくっていくのも楽しい  	○漢字の「へん」、「つくり」、「かんむり」、「あし」だけを見せて何の漢字かを考えさせる。漢字カードを使ってもよいし、手書きのカードでもよい。パソコンの画面でもできる。 **T：「何の漢字だと思いますか？」** S：「林だと思います。」 **T：「他には何の漢字だと思いますか？」** S：「村だと思います。」 別のパターンとして、 「日」＋「月」は？　「一」＋「大」は？ など、２つの部分に分けられる漢字をクイズ形式で出すと、カルタのように楽しんで考えられるでしょう。
3　漢字クイズを考えて問題を出す。 **（書く活動）**  	○２と同じ活動を児童が問題を作って友達や先生に出す。漢字一覧表や漢字辞典を見ながら作るとよい。 S：「何の漢字だと思いますか？」 **T：「目かな？白かな？百かな？」** S：「田＋力は何の漢字だと思いますか？」 ※高学年以上は、 ・「へん」や「つくり」という言葉を教える。「へん」や「つくり」が同じ漢字がわかってくると、効率よく漢字の定着につながる。 ・ちびむす小学生漢字クイズ問題プリント （https://happylilac.net/kanjiQ.html） を解いてもよい。